

OXサイドデスク取扱説明書

このたびは「OXサイドデスク」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。お読みになされた後は、大切に保管してください。なお、組立方法は裏面をご覧ください。

1. 安全のために必ずお守りください

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

警告

● 廃棄するときは購入店に相談してください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

注意

● サイドデスクは単体では使用できません。必ずデスクと連結してご使用ください。倒れてけがをすることがあります。

● デスクを移動する際はサイドデスクを一度取り外してください。連結したまま移動すると、破損やけがをすることがあります。

● 天板の外周部に片寄って重い物を載せないでください。倒れてけがをすることがあります。

● 火や熱器具のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。

● 天板に40kg以上(等分布質量)の物を載せないでください。倒れてけがをすることがあります。

● 各部のねじ類がゆるんだまま使用せず、締め直しをしてください。破損や倒れてけがをすることがあります。

● 異常を発見したらそのまま使用せず、購入店に修理を申しつけてください。破損や倒れてけがをすることがあります。

● 天板に乗ったり腰を掛けたりしないでください。倒れてけがをすることがあります。

● 乱暴な扱い方や用途以外で使わないでください。破損や故障、けがをすることがあります。

● 天板の固定は確実に行ってください。天板が外れてけがをすることがあります。

● アジャスター調整は対象物を支えて行ってください。倒れたり手足をはさんでけがをすることがあります。

● 床に傾斜や段差のある不安定場所で使用しないでください。倒れてけがをすることがあります。

● 木製天板に直接金属や陶器などの硬いものを載せたりボールペン等、先の硬いもので筆記しないでください。きずがつくことがあります。

● 木製天板に直接熱いカップ等を置かないでください。表面に跡がつくことがあります。

● この製品は屋内用です。屋外で使用しないでください。故障や破損によりけがをすることがあります。

● 子供が遊具代わりにしないようにしてください。けがをすることがあります。

● 脱着可能な部品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤飲の可能性があります。

● 本機を第三者に譲渡または貸与するときは、取扱方法を十分に説明してください。

● 使用中ボルトやねじのゆるみを発見した場合は必ず増し締めを行なってください。そのまま使用すると壊れてけがをすることがあります。

● 完全に組み上がっていない状態で使用しないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。

● 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。

2. 健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い

- 製品購入時の注意事項
購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通気を十分に行うよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
- 温度や湿度の変化による換気の励行
室内が著しく高温多湿になる場合(温度28℃、相対湿度50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

3. ご使用上の注意

- 直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- 湿気の多い所には置かないでください。腐食・変形することがあります。
- 熱い鍋やヤカンなど高温のものを直接天板の上に置かないでください。天板面や縁材が変色・変形することがあります。
- 天板面や縁材に固いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。天板面や縁材を破損することがあります。
- 天板表面の色調・仕様の関係で、汚れ及び皮脂等が目立つことがあります。その場合は下記の「4.お手入れ方法」に従って、汚れを拭き取ってください。
- 家具は水平を保つ様に設置してください。ガタツキのある状態で使用していると、家具が変形し、破損やけがをすることがあります。
- ウッドフロア等で使用する場合は床面を傷つけない様、市販のフェルトやカーペット等を敷いてご使用ください。
- 水や飲料等をこぼした場合は速やかに拭き取ってください。変色・変形することがあります。

4. お手入れ方法

- 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
- 汚れのひどい場合には弊社「オフィスクリーナー」または薄めた中性洗剤溶液で拭いてから固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
- ボルトやねじのゆるみが生じた場合は、締め直してください。

ご注意:シンナー・アルコール等の使用は避けてください。変色・変形や塗装が剥がれる場合があります。

5. 各部の名称及び主な材質

天板	メラミン樹脂化粧板、パーティクルボード、塩化ビニル樹脂(縁材)
幕板	メラミン樹脂化粧板、パーティクルボード、塩化ビニル樹脂(縁材)
脚	メラミン樹脂化粧板、パーティクルボード、塩化ビニル樹脂(縁材) 鋼+ABS樹脂(アジャスター)

※1: JOIFAナンバー、製品名(品番) 製造番号を表示

6. 製品の保証について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店または下記記載のお客サービスセンターへご連絡ください。

1.保証項目・期間

保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

対象部位	不具合内容	保証期間
外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部分の変色・退色、レザー・クロスの摩耗	1年
機械部・可動部	引出し・スライド機械・扉の開閉・昇降機構の故障	2年
構造体	強度・構造体による破損	3年

※保証項目は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。
※この期間は、通常の状態で使用された場合を想定して定めたものですので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使用状況をするのでの保証期間ではありません。
●保証期間経過後の修理については有償とさせていただきます。

2.保証対象外

保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
・火災、天災による故障または破損。
・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

7. 製品の仕様に関するお問い合わせ先

■製品の仕様に関するご質問は、各製品に貼付してあります商品表示シールの品番・製造番号をご確認の上、ご購入店・または下記のお客サービスセンターにお寄せください。

お客様サービスセンター / ☎0120-432-298

受付時間 月曜日～金曜日 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00
(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く)

8. お見積り(商品・修理・パーツ)のご相談について

お見積りに関するご相談は、商品のご購入店にお問い合わせください。なお上記お客サービスセンターより直接のお見積り提示・販売はしておりません。

品質表示			
■ 外形寸法	品番	幅	奥行 高さ
	OX-047SD	400mm	700mm × 720mm
■ 甲板の表面材	合成樹脂化粧パーティクルボード(メラミン樹脂)		
■ エッジ材質	塩化ビニル樹脂		
■ 取扱い上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 直射日光又は暖房器具などの熱を避けてください。 加熱したなべ、湯沸かしなどを直接置かないでください。 		
表示者	プラス株式会社 ☎ 0120-432-298		

9. サイドデスクの組立方法 (必ず二人以上で作業してください)

- 組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。
- 組立には⊕ドライバーを用意してください。
- 作業は製品の表面を傷つけないように、梱包箱を利用して行うか、毛布等のあてものを敷いて行ってください。



■ 組立部材・部品一覧

①天板	②脚	③幕板	④締付ボルト	⑤締付円盤	⑥ネジ	⑦シール	⑧連結プレート
1枚	1枚	1枚	6本	6ヶ	8本	10枚	2ヶ

⑤締付円盤の取付方法

- 1 最後まで押し込んでください。(入りにくい場合はドライバー等で押し込んでください。)
- 2 ④締付けボルトを取り付けた板を穴に合わせて差し込みます。
- 3 ⊕ドライバーで右に止まるまで回してロックします。(135°以上が目安)

十字溝のとがった部分を穴に合わせます。

1 サイドデスクをデスクの左右どちらに設置するか決めます。

注意 サイドデスクの左右2台設置はスペースが狭くなるため、椅子や体をぶつけ破損やけがをすることがあります。左右どちらか一方方向に設置してください。

左側 右側 どちらか一方

2 天板に締付ボルトを取り付けます。

左側の場合 右側の場合

④締付ボルト ①天板

手回しでしっかり締め付け
※ドライバーによる締め過ぎや締め付け不足は以降の組立に不具合を起す恐れがありますのでご注意ください。

3 脚に締付ボルトを取り付けます。

左側の場合 右側の場合

④締付ボルト ②脚 ①天板

4 幕板にアジャスターを取り付けます。

アジャスターが設置したい方向と逆に付いている場合はアジャスターを緩めて外し、反対側に付け直してください。

左側の場合 右側の場合

③幕板 アジャスター

5 脚・幕板を組み立てます。

左側の場合 右側の場合

③幕板の2ヶ所に⑤締付円盤を取り付け、十字溝のとがった部分を穴方向に合わせます。②脚の締付ボルトに差し込み⑤締付円盤を右へ回してロックしてください。

②脚 ③幕板 ⑤締付円盤

6 天板を取り付けます。(左側の場合)

②脚③幕板の4ヶ所に⑤締付円盤を取り付け、十字溝のとがった部分を穴方向に合わせます。①天板の締付ボルトに差し込み⑤締付円盤を右へ回してロックしてください。⑨連結プレートを⑥ネジで①天板に固定します。

⑥ネジ ⑨連結プレート ①天板

注意 手を挟まないように注意してください。

7 デスク本体に取り付けます。

⑥ネジ

注意 上下をひっくり返す時は二人以上で行ってください。

8 シールを貼り付けます。

⑤締付円盤が付いている所及び締付円盤がない部分に⑦シールを貼ってください。(10ヶ所)

①天板 ②脚 ③幕板 ⑦

9 アジャスターの調整をします。

設置後、机のガタツキを確認してください。ガタツキがある場合は脚部のアジャスターを回転させ、水平を保つよう調整してください。

アジャスター 上がる 下がる